

一般社団法人 日本トライボロジー学会

トライボロジスト論文投稿ガイドライン

校閲委員会

1. 記事の種目

日本トライボロジー学会会誌「トライボロジスト」に論文として投稿される記事は次の3種類とします。いずれの記事も本文を記述する言語は日本語とします。

1.1 学術論文 (Original Contribution on Science)

著者の原著で、トライボロジーに関する学術の進歩に寄与する研究成果に関する報告を主体としたものです。(1) 独創性または新規性、(2) 信頼性、(3) 学術的有用性、(4) 論旨の一貫性、(5) 発展性または完結性 の5つの観点を本誌への掲載価値の評価基準とします。

1.2 技術論文 (Original Contribution on Technology)

著者の原著で、工業に直結したトライボロジー技術に関する報告を主体としたものです。(1) 独創性または新規性、(2) 信頼性、(3) 工業的有用性、(4) 論旨の一貫性 の4つの観点を本誌への掲載価値の評価基準とします。発展性または完結性については評価基準としません。また、過度の学術的考察は必要ありません。

1.3 速報論文 (Short Paper)

著者の原著で、トライボロジーに関する速報性を有する研究報告、または、断片的に見出された新しい概念や事実の報告、著者の意見などです。「1.1 学術論文」の評価項目のうち(1)～(4)の観点を本誌への掲載価値の評価基準とします。なお、掲載可否の判定が下るまでの校閲手順が「論文」よりも簡略になっています。

2. 論文 (学術論文・技術論文・速報論文) についての一般的注意

2.1 オリジナリティ

学術論文・技術論文・速報論文は、著者の原著であり、原則として他の刊行物に未投稿のものに限ります。他の刊行物に公表された成果が含まれる場合は、参考文献等に挙げなければなりません。

他の刊行物とは、学協会等により一般に公表されている、正規の査読・校閲を経た記事を掲載する論文集またはこれに準じるものです。

速報論文が原著であっても、「1.1 学術論文」の5つの評価基準を満たすように再構成したものは、新規の原著学術論文として投稿できます。

2.2 著者責任

学術論文・技術論文・速報論文の内容については、著者が全責任を負うものとします。投稿に先立ち、著者全員で必ず記載内容をご確認ください。

3. 投稿資格

著者は個人(連名も可)であって、少なくとも1名が本会正会員、学生会員または名誉会員であることを要します。

4. 原稿の長さ

ページ数の制限は設けません。「トライボロジスト」に印刷された場合に、学術論文および技術論文は 8 ページ以内、速報論文は 4 ページ以内を標準とします。

5. 原稿の提出

原稿は本校閲委員会の定める「トライボロジスト論文作成ガイドライン」および「投稿論文用テンプレート（原稿）」、「投稿論文用テンプレート（図表）」に従って執筆してください。原稿が完成しましたら、Editorial Manager®（以下、EM）経由で投稿してください。投稿先の URL は下記の通りです。投稿する際には、著者情報、原稿、図表の各電子ファイルの提出（アップロード）とは別に、EM 上において、表題、著者全員の氏名、キーワードなどを入力するとともに、その論文で「アピールしたい点」を箇条書きで簡潔に記載してください。続報論文の場合には、前報との関係についても記してください。

印刷版下は、最終原稿をもとに、本会で作成します。

なお、掲載決定後「原著確認・著作権移譲書」をご提出頂きますので、予めご了承ください。

投稿先 URL : <http://tribologist-orig.edmgr.com/>

（この URL には、日本トライボロジー学会のホームページからもアクセスできます。）

6. 原稿の校閲および照会

6.1 原稿の校閲

受付原稿は、本校閲委員会が依頼する当該専門分野の査読者の判定に基づく審議を経て、同委員会により掲載の可否が決定されます。原稿に対して校閲委員会より加筆・削除・修正などをお願いする場合があります。受付原稿に対するお問合せは、すべて EM 経由でお申し出ください。

6.2 掲載可否の判定

掲載可否の判定は、2 名ないし 3 名の査読者の査読結果に基づいて校閲委員会で行ないます。その際、査読者からの修正意見があれば、著者に対して修正依頼を行ないます。修正意見に対して著者が十分な回答を行なったかどうかは校閲委員会で行ないます。ただし、修正を求められても原稿の内容に対する責任は著者にあり、本会の責任は原稿の採否にあることにご留意ください。

6.3 校閲委員会からの照会

校閲委員会からの照会に対して照会后 2 カ月以内（再照会以後は 1 カ月以内）にご回答がないと、その原稿の最初の受付日の権利は取り消され、新たに投稿された原稿として受け付けることになります。それに応じて、採択後の掲載時期が遅れますのでご注意ください。

6.4 評価基準

校閲にあたり、以下の項目に照らして客観的に評価します。

学術論文の評価項目

- （1）独創性または新規性：研究の着想、手法、解析、考察などの独創性、または新しい研究方法、知見などを含むか、について評価します。
- （2）信頼性：理論や実験に誤りがなく、結果や考察の論理が正確で、得られた結論が妥当であるかを評価します。従来の理論や実験との関係が明確に記されていることが必

要です。

- (3) 学術的有用性：記述されている理論，実験データ，考察，結論などの学術的価値を評価します。
- (4) 論旨の一貫性：論文全体にわたって，一貫した論旨で記述されているかを評価します。
- (5) 発展性または完結性：本研究を基に将来の技術，研究の発展が望めるか，または研究の目的を達成し，明解な論旨で普遍性あるいは納得性のある結論が得られているか，などを評価します。

技術論文の評価項目

- (1) 独創性または新規性：研究または開発の着想，手段，解析，考察などの独創性、または新しい工業的価値・性能などを含むか，について評価します。
 - (2) 信頼性：理論や実験に誤りがなく，結果や考察の論理が正確で，得られた結論が妥当であるかを評価します。従来の理論や実験との関係が明確に記されていることが必要です。
 - (3) 工業的有用性：記述されている結果，考察，結論，製品性能などの工業的有用性を評価します。
 - (4) 論旨の一貫性：論文全体にわたって，一貫した論旨で記述されているかを評価します。
- ※発展性または完結性は、評価項目としません。また、過度の学術的考察は必要としません。

速報論文の評価項目

学術論文の評価項目のうち，(1) ～ (4) の観点について評価します。

各査読者は以上の各項の評価と，現在までの「トライボロジスト」に掲載された学術論文，技術論文，寄書，速報論文，および解説を参考にして，水準以上であれば，掲載「可」とし，掲載するほどの内容を含まないと考える場合，および掲載すべきでない場合を「否」とします。ただし，各評価項目の中に多少の疑義・疑問などのある項目がある場合でも，自動的に「否」とは判定せず，学術や技術の発展に寄与する内容があるものは掲載されるように配慮します。

6.5 続報論文

続報論文については次のように扱います。

6.5.1 前報との関係の明記

投稿された学術論文・技術論文・速報論文の主要な内容が，同時またはこれに先立って投稿された学術論文（前報）・技術論文（前報）・速報論文（前報）の掲載を前提としている場合，著者はその旨を投稿時に申請する必要があります。該当する場合は，EM 上で追加投稿情報を入力する際に，その旨，記入してください。

6.5.2 採否について

前報の掲載を前提として作成された続報は，前報が掲載否（または期限切れ，取下げ等）となった場合，自動的に返却扱いとします。したがって，先に続報の校閲結果が出ていても，前報の校閲結果が出るまで続報は保留の扱いとなります。

6.5.3 独立した論文としての採否

互いに従属関係にない論文については，通常の手続きに従って校閲を開始し，各々独立した論文としてその可否を判定します。この場合，先に (n+1) 報の掲載が決定された場合および (n) 報が掲載否で (n+1) 報が「掲載決定」となった場合，校閲委員会は採否決定の通知時に「(n+1) 報の掲載保留」，「(n+1) 報の表題変更」などの処置について著者に確認します。

6.5.4 同一号への掲載限度

同一著者の学術論文・技術論文・速報論文の同一号への掲載は，2 編までとします。

7. 最終原稿の提出

印刷版下は、本会が作成します。

図は、そのまま写真製版が可能なものをご提出いただくことを原則とします。図がそのまま写真製版可能かどうかは本会で判断します。その結果トレースあるいは写植文字の貼込みなどが必要となった場合には、その料金（実費）を投稿料に併せて請求いたします。

図の印刷はモノクロを原則とします。カラーを含む図をモノクロ印刷にする場合には、線種や記号などが区別してあり、本文中の説明がモノクロ印刷に対応していることをご確認ください。なお、カラー印刷も可能です。この場合は、投稿料に加え、別途カラー印刷料金が適用されます。

8. 著者校正

著者校正を1回行ないます。校正刷完成後、EM経由で通知が届きます。通知に記載された期日までにご返答ください。なお、この際に原文を変更することは原則として認めません。

9. 掲載順序

学術論文・技術論文・速報論文の掲載順は、原則として原稿受理日の順（受付番号順）とします。速報論文は「掲載決定」になり次第、論文に優先して掲載手続きに入りますが、この場合も速報論文の中で受付番号順とします。

10. 投稿料・別刷

10.1 投稿料

学術論文・技術論文・速報論文の掲載分は、別に定める投稿料を納入していただきます。なお、掲載論文については、トライボロジストに掲載された論文のPDFファイル（ページ番号記載）をEM経由で配布いたします。

10.2 別刷

学術論文・技術論文・速報論文の別刷（表紙なし・表紙つき）を必要とされる方には、有料にて作成します。著者校正時にお申し出ください。

10.3 カラー印刷

カラー印刷は可能です。ご希望の場合は、別途カラー印刷料金が加算されます。

11. 発行後の訂正

印刷上の誤りの訂正は、印刷後、原則として1カ月以内に著者がお申し出になれば、適宜会誌に掲載いたします。

12. 著作権

別に定める「著作権についてのガイドライン」に従うものとします。掲載決定後「原著確認・著作権移譲書」をご提出頂きますので、予めご了承ください。

13. 機関リポジトリにおける公開

著者は、グリーンオープンアクセス（セルフアーカイブ）として、「トライボロジスト」に掲載される自身の論文および根拠データの著者最終稿を機関リポジトリなどの公的なオンラインリ

ポジトリから公開することができます。本誌は、掲載決定と同時に機関リポジトリから公開することを許容します。

14. 投稿料

投稿料（税抜）は以下のとおりです（2023 年 12 月 18 日改定，2024 年 1 月 1 日施行）。

速報論文	刷上り	4 ページ以内	19,000 円
		超過ページ	18,000 円/ページ
論文	刷上り	6 ページ以内	28,000 円
		7 ページ	32,000 円
		8 ページ	37,000 円
		超過ページ	18,000 円/ページ

カラー印刷をご希望の場合は，上記投稿料にカラー印刷料金（80,000 円/ページ）が加算されます。

トレースと写植文字の貼込み：1 図につき 3,000 円見当です。

（改定記録）

2008 年 10 月 24 日改定

2012 年 6 月 5 日改定

2012 年 10 月 1 日施行

2017 年 1 月 1 日改定・施行

2018 年 3 月 28 日改定・施行

2024 年 1 月 1 日改定・施行

2025 年 3 月 27 日改定・2025 年 4 月 1 日施行